



飛騨っ子

令和5年9月19日発行 NO6
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職 : 水口 悟
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



子育て・家庭教育を支える



◇ 第27回 子育てフォーラム「親子ファミリーコンサート」 園行事参加型 家族の大切さ



おーみん
＜夢民バンドみなさんによる演奏＞

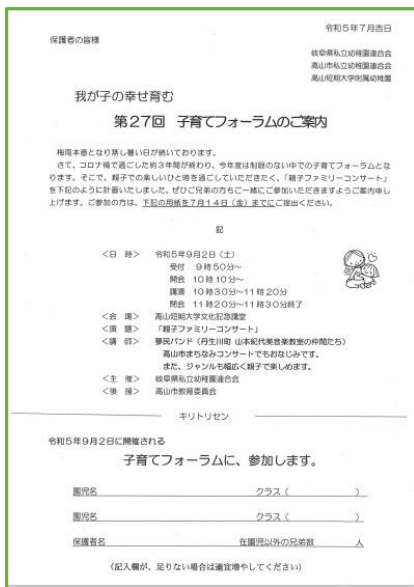
- 期 日:令和5年9月2日 ○対 象:市内幼稚園の保護者
- 会 場:高山短期大学文化記念講堂
- 主 催:岐阜県私立幼稚園連合会

高山市内にある3つの幼稚園では、毎年1回「我が子の幸せ育む 子育てフォーラム」を合同で開催しています。今年度で27回を迎える伝統ある子育てフォーラムです。

今年度は、コロナ禍で過ごした3年間でようやく終わり、4年ぶりに制限の無い中の開催となりました。「親子で楽しいひと時を過ごしていただきたい!」という願いのもとに開催されたフォーラムには、約250名もの参加がありました。我慢を越えての再開です。

会場に入ってくる保護者みなさんの会話が弾みます。「会えた!会えた! 3園合同なので誰かに会えると思って!」「さっきは、LINE ありがとうございます!」...ようやく制限から解放された嬉しさが伝わってきます。また、改めて子育てネットワークを活性させる環境の大切さが理解できます。大人であっても友達と会えることは嬉しく、生きるエネルギーになります。

コンサートの演奏者は、高山市在住の「夢民バンド(山本紀代美 音楽教室の仲間たち)」のみなさんです。開会式では「地元縁のある人を招いた楽しい企画は、ホッとする時間になります。親子で楽しく過ごす土曜日の午前にしてください。」とのお挨拶がありました。地元の方々の親子に向けたいくつもの子育て応援メッセージが講堂に広がりました。



＜3幼稚園合同の案内＞

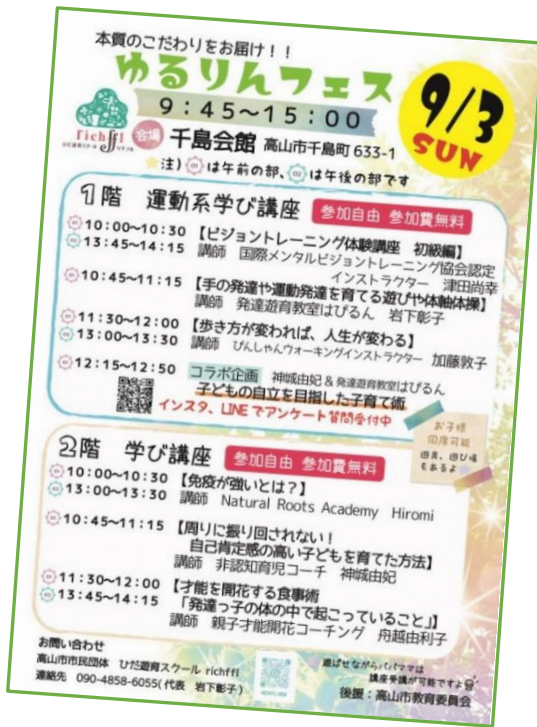
＜主催者の声＞



私自身もかつて子育てに追われていた時期、心に寄り添ってくれる歌にどれだけ勇気づけられ慰められたことかれません。みなさんと共有した時間が、少しでも今後の子育ての支えになったら幸いです。

5類に移行したとはいえ、このフォーラムをこの会場で開催することは「本当に大丈夫なのか」と心配で仕方ありませんでした。そんな不安がよぎる中で賑やかに始まったコンサート。子どもたちが知っている歌が始まると、リズムに合わせて身体を動かしたり口ずさんだりするわが子を見つめる姿や親子で顔を合わせ笑顔で手拍子する姿は、微笑ましくほっこりしました。3園の保護者のみなさんをお見送りする際に、「ありがとうございました!楽しかったです♪」と笑顔で声をかけていただいたときには、「開催して良かったんだ。これで良かったんだ。」と思えた瞬間でした。

◇ ゆるりんフェス 本質のこだわりをお届け！！ 行事参加型 自立心 基本的な生活習慣



- 期日:令和5年9月3日
- 会場:高山市千島会館
- 主催:ひだ遊育スクール richffl

高山市の市民団体の一つである団体「ひだ遊育スクール richffl」が企画したゆるりんフェス。‘richffl’という言葉には「子育ての豊かさをパワフルに極めていく」という願いが込められています。現在のメンバーは8名でこうしたイベント企画は初めての開催です。

ゆるりんフェスには、保護者が自由に選択して参加できるいくつかの学びの講座が盛り込まれています。それぞれの講座を受け持つ方々は、資格を有している講師の皆さんです。専門的な方々からの子どもたちの発達や発育のポイントをおさえた話に、参加者みなさんは興味津々です。講座の時間も約30分とお子さんを連れての参加者も聞きやすい。子どもたちの発達や発育のポイントをおさえた内容は、参加者みなさんの子育てを支えます。

午後12時15分からは、コラボ企画として岩下さん(発達遊育教室はぴるん)と神城さん(非認知育児コーチ)による子育てトーク(タイトル:子どもの自立を目指した子育て術)が始まりました。2人はママ友つながり。わが子が成長した後も、語り合える仲間がいることが嬉しい。

岩下 参加者からいただいた最初の質問です。

Q1 自立のために気をつけてきたことは何ですか？

岩下 うんうん。なるほどね～。
私は、わが子がどんなふうになくなっていくのが楽しみでした。わが子の未来をつねに見つめて、今できることには何があるのかをわが子に選択させてきたかな～。



<子育てトークを視聴する参加者>

神城 私の場合は、子どもを頭ごなしに否定しない・子どもを信じる・その自分を信じぬく・親ぶらないことかな～。

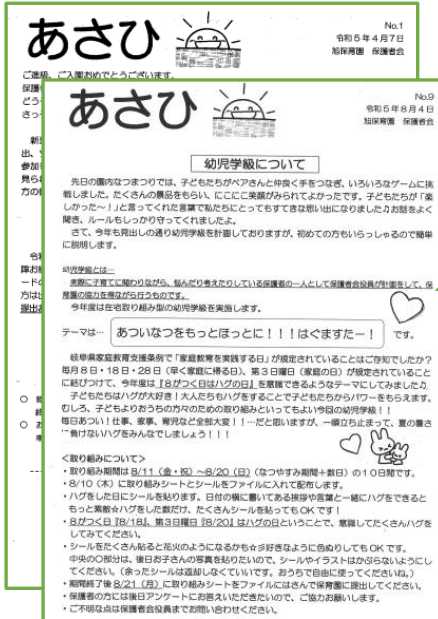


子育てに正解があるわけではありません。「どんなことを大切にしてきたか・意識してきたか・楽しんできたか・願ってきたか」のいろいろを聴けることが楽しい！もちろんそっくりそのままをあてはめられるものではありません。しかし、共感したり参考にしたりしながら、わが子育てを見つめ整理できる時間(場所)があることが大切です。子育てについての不安や悩みを和らいだり解決したりすることにつながります。フェスの終了後「日常的にはわかっている‘当たり前’を、改めて確かめ自分のものにできた」という参加者からの嬉しい声を聞くことができました。



<ゆるりんフェスを支えるみなさん>

◇ 飛騨市立旭保育園 はぐますたー あついなつをもっとほつとに！！ 在宅取組型 自立心



○期 日:令和5年8月11日~8月20日 ○会 場:各家庭
○対象者:全保護者



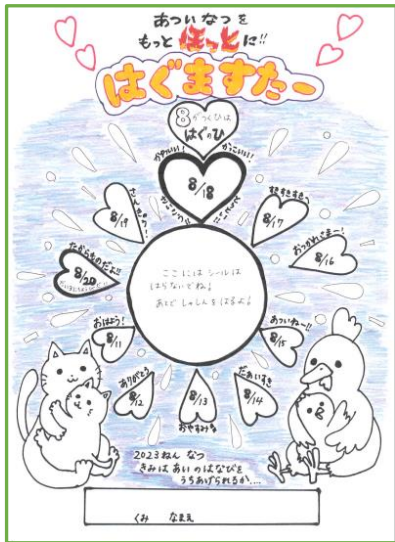
幼児学級とは・・・

実際に子育てに関わりながら、悩んだり考えたりしている保護者の一人として、保護者役員が計画を行い保育園の協力を得ながら行うものです。今年は、在宅取組型の幼児学級を実施します。

飛騨市では、子育て応援課による幼児学級運営会議が位置づいています。年度初めの会議にて各園の関係者が一堂に会し、県の家庭教育についての方針や飛騨市の方向性を確認し進めている点がすばらしいです。各保育園の役員のみなさんが主体的に呼びかけて活動できるのは、年度初めの会議があつてのことです。保護者の活動を継続可能にしている支援の1つです。役員みなさんの活動は、自身の貢献感を育むとともに保護者みなさんの連帯感を育てています。

<保護者会たより あさひ>

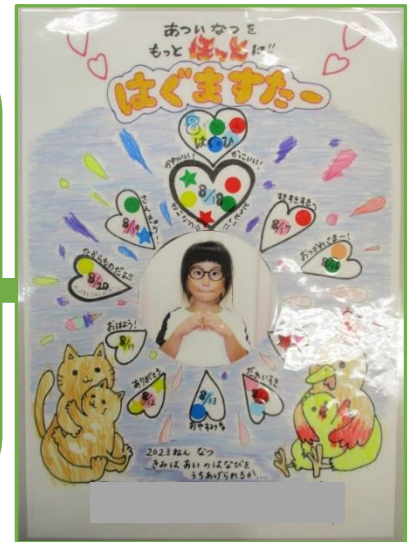
岐阜県家庭教育支援条例で・・・「家庭教育を実践する日」が規定されていることはご存じでしたか？
今年度は、毎月8日・18日・28日(早く家に帰る日)、第3日曜日(家庭の日)が規定されていることに結びつけて、『8がつく日はハグの日』を意識できるようなテーマにしてみました♪



<実践カード 配布>

子どもたちはハグが大好き！
大人たちもハグすることで子どもからパワーをもらえます。むしろ、子どもよりもおうちの方のための取組といつてもよい今回の幼児学級!!

毎日あつい!仕事,家事,育児など全部大変!!だと思いますが、一瞬立ち止まって夏の暑さに負けないハグをみんなでしましょう!!!



<実践カード 完成>

岐阜県では「家庭教育について学ぶ動画」を公開中です!



家庭教育を実践する日

地域の風景と日常的な実践の写真また中高生による川柳を通して、「家庭教育を実践する日」(第3日曜日・8のつく日)への意識を高めましょう。(2分18秒)



家庭教育を実践する日

毎月第3日曜日は
家庭の日
8のつく日は
早く家へ帰る日



岐阜県家庭教育支援条例